



ジャパンネット銀行における パブリッククラウド活用の取組について

2016年6月1日

執行役員 IT本部長 (CIO)

出口 剛也

IT統括部 部長

二宮 賢治

注意事項

本資料はジャパンネット銀行および関係社以外の第三者への提供・開示は禁止。記載内容の転載は禁止します。

執行役員 IT本部長（CIO） 出口 剛也

1989年～	住友銀行（現三井住友銀行） 入行 ・第四次総合オンラインシステムの企画・開発 ・さくら銀行との合併に伴うシステム統合 ・SMFGグループIT会社の設立 等
2008年～	三井住友カード・日本総合研究所 ・次世代クレジットカードシステムの企画・開発 ・クラウドを活用したアジャイル型開発の立ち上げ
2016年～	ジャパンネット銀行

三井住友カードでは、インフラ企画部長として、ハイブリッドクラウド基盤の構築やパブリッククラウド(PaaS)を活用した内製開発体制を整備。

ジャパンネット銀行の概要

JNB

会社概要

名称

株式会社ジャパンネット銀行（英名：The Japan Net Bank, Limited）

所在地

本社・本店営業部・各支店 東京都新宿区西新宿2-1-1

設立

2000年9月19日

日本で最初のネット専門銀行

開業

2000年10月12日

資本金

372億5千万円

戦後初の普通銀行の新設

出資企業

JNB

株式会社三井住友銀行



ヤフー株式会社



日本生命保険相互会社

富士通株式会社

株式会社NTTドコモ

東日本電信電話株式会社

三井住友海上火災保険株式会社

三井生命保険株式会社

住友生命保険相互会社

持株比率

41.16%

41.16%

6.97%

4.65%

2.32%

2.32%

0.46%

0.46%

0.46%

三井住友銀行と
ヤフーが
主要株主です。

業容・サービス内容

JNB

- 1. ピーク取引量 ⇒ 約22万取引/時間
- 2. 口座数 ⇒ 約320万口座
- 3. 預金残高 ⇒ 約6,000億円（市場性商品除く）
- 4. 顧客デバイス比率 ⇒ PC = 6割 / スマホ = 3割 / その他 = 1割
- 5. データセンター ⇒ メインセンター = 関東、サブセンター = 関西
- 6. 社員数 ⇒ 約300名

内訳（主要な取引）

WEB取引	約12万件/時 (約24万PV/時)
ATM取引	約2万8千件/時
VISAデビット	約7千件/時
宝くじ、toto購入	約5万6千件/時

展開するサービス

宝くじ
販売

BIG/toto
販売

VISA
デビット

公営
競技

FX

外貨預金
投資信託

ローン

などなど...

当行のIT戦略

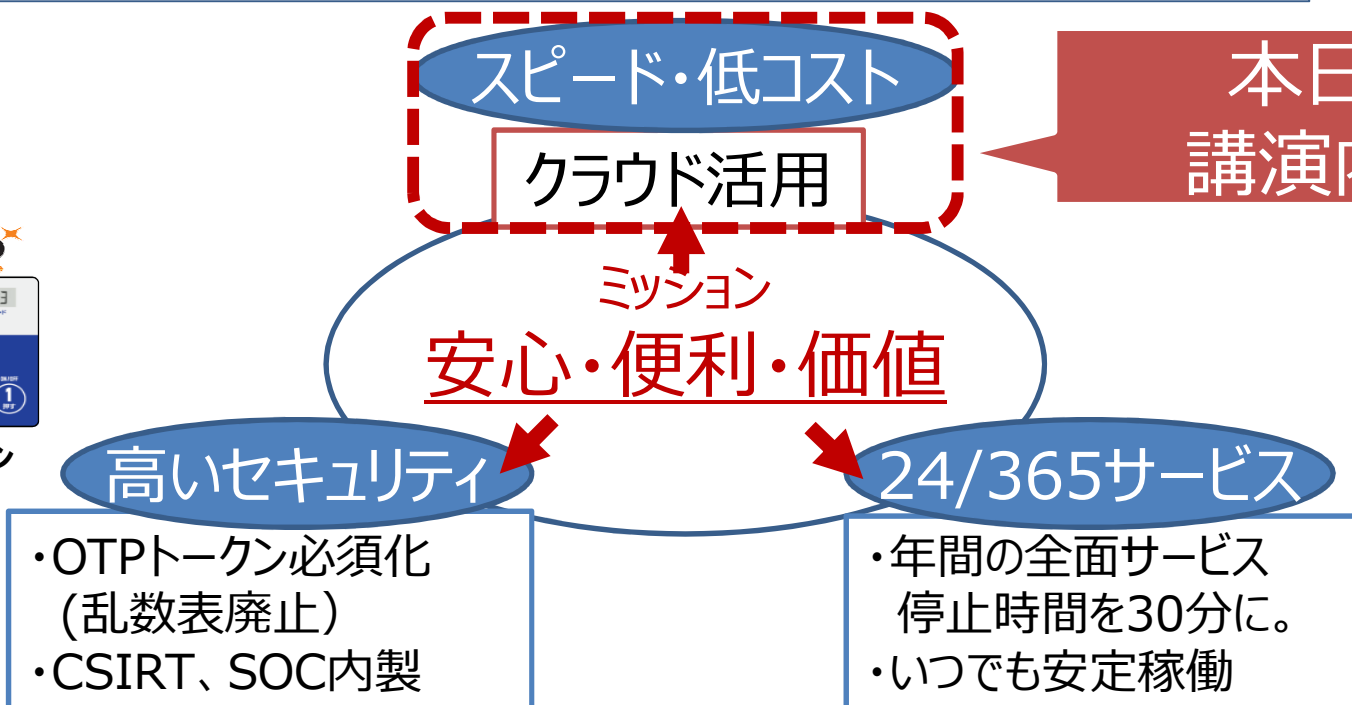
JNB

□ 当行のミッションステートメント

これまでの銀行のあたりまえをなくし、ジャパンネット銀行だからできる安心、便利さと価値で、暮らしを快適にします。
いままでのカタチにとらわれず、世の中に役立つ新しい日本の銀行を創ります。



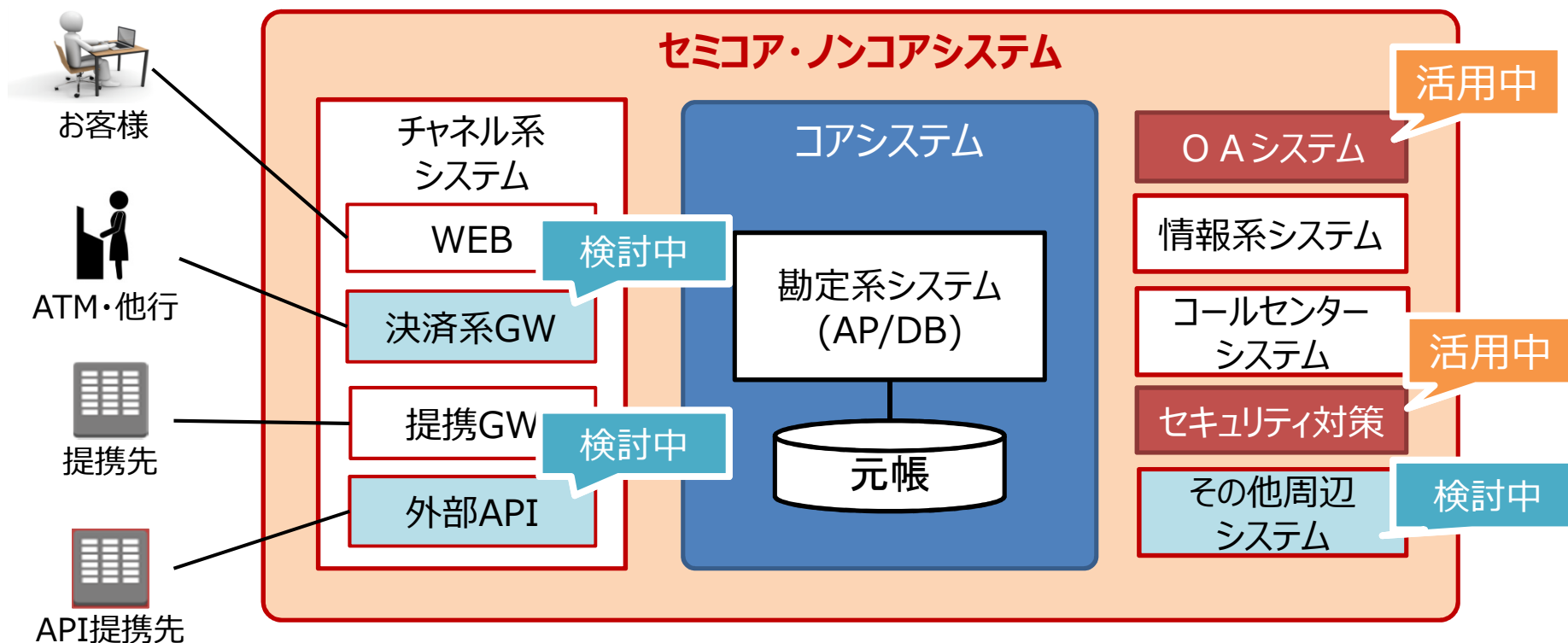
カード型トークン



クラウド活用エリアについて

JNB

セミコア・ノンコアシステムから、順次、適性に応じてクラウドを活用



プロフィール

JNB

IT統括部 部長 二宮 賢治

1990年	・某SIベンダー入社 ・金融機関を担当するSEに
2003年～	・縁あってジャパンネット銀行へ ・システム部門にて基幹系システムの基盤開発を担当
2014年～	・当行へのパブリッククラウド適用の推進を担当 ・2015年春より、OAシステムのAWS移行のプロジェクトマネージャ
2015年秋～	・CSIRTリーダーとしてサイバーセキュリティ対策を主務に

- ・現在、サイバーセキュリティ対策を主業務としつつ、引き続き同プロジェクトの二次フェーズを推進中。

クラウド活用へ向けた経緯

JNB

□ 約2年半前…

- ✓ 提携先や、当行が利用するサービスのインフラがAWSに

⇒当行でもメリットを享受できるの？

⇒信頼性、安全性大丈夫か？

⇒他行は？（ソニー銀行様が先行）



うちも検討してみよう…

□ 業界全体としては…

- ✓ FISC有識者検討会（2014年4月～11月）

⇒パブリッククラウドの位置づけと考え方が示される

（外部委託の一種、可用性や機密性に従ったリスク管理）

横目に見つつ、更改期限を迎えるOAシステムの
クラウド移行を検討



Copyright The Japan Net Bank, Limited. All rights reserved.

クラウド活用へ向けた経緯

JNB

□ 初のパブリッククラウド利用へ向けて・・・



- ✓ 安全性、信頼性の確認(特にAWSの場合、データセンター立入ができない・・・)

⇒ 第三者認証をしっかりと確認

- ✓ 当行規程にパブリッククラウドの想定なし

⇒ 関連規程の整備

- ✓ 社内外の不安

⇒ ステークホルダーの説得！

これらをクリアし、他社クラウドとの比較検討を経て
OAシステムのAWS移行を決定(2015年春)



(ご参考) 規程の整備について

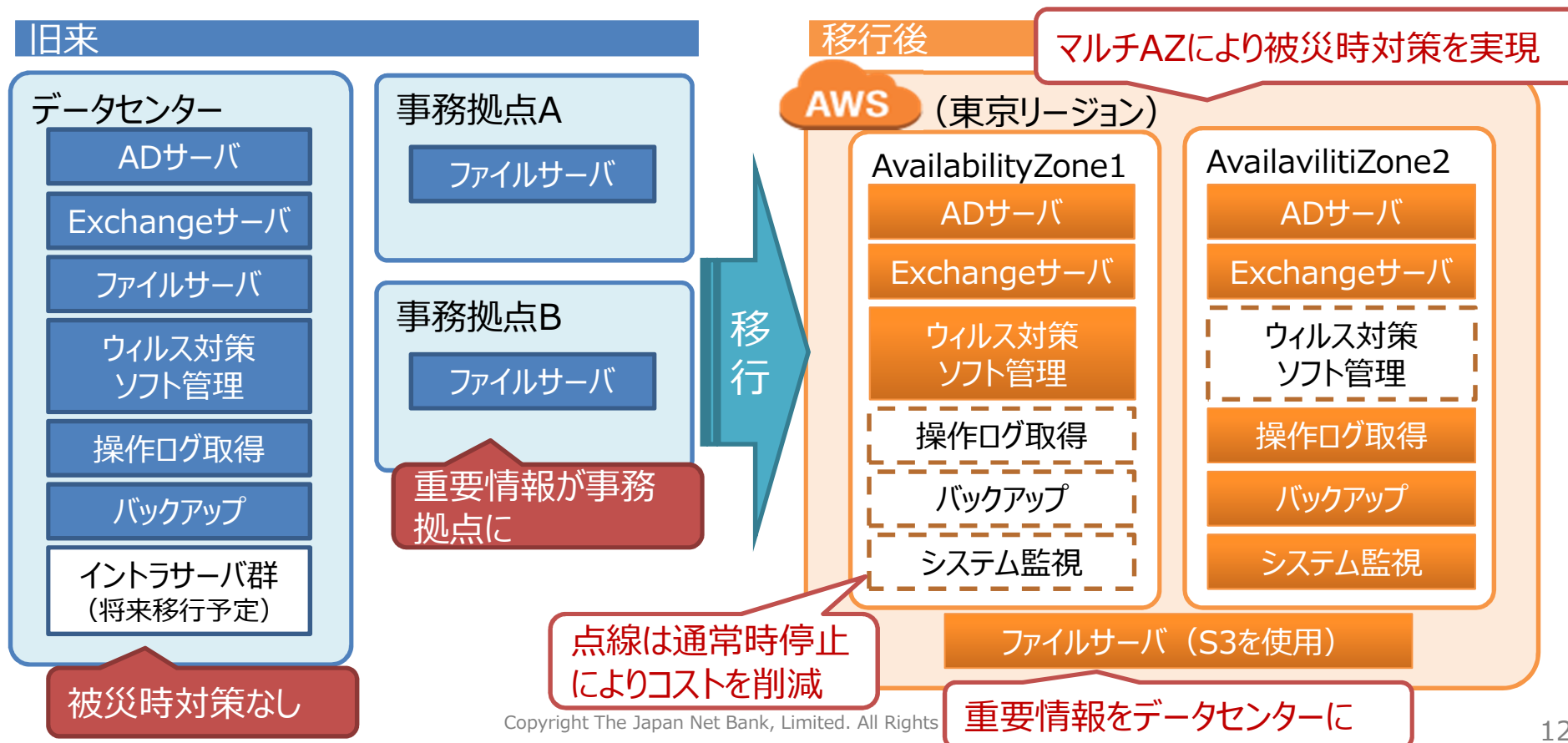
パブリッククラウドを利用する際の、委託先選定時の評価基準を策定。
 (FISC有識者検討会のアウトプットを活用)

NO	項目	ポイント
1	利用検討時	事業者選定
2		データの所在
3	契約締結時	サービスレベル
4		情報開示
5		複数先への委託
6		再委託管理
7	運用時	データ暗号化等
8		記憶装置等の障害・交換
9	契約終了時	データ消去
10		バンダーロックイン
11	定期的な当社による立入監査・モニタリング	
12	インシデント発生時の当社によるクラウド事業者施設への立入	
13	第三者監査	

OAシステムでのAWS活用状況

JNB

OA系サーバを全面的にAWSに移行済み。（開発期間:2015年6月～2016年4月）



なぜAWS？

他のクラウドサービスとも比較したが…

- ・何と言ってもデファクト、国内金融機関での実績もあった
- ・価格設定の透明性（定価で安い）
- ・度重なる値下げ
- ・新サービスがどんどん出てくる

他社クラウドでは勝ち目がなかった。。。
（もちろんオンプレではコスト面で無理）



目指したこと

JNB

□ クラウドの特性を活かし…

- ✓ 短期構築
- ✓ コスト抑制
- ✓ 規模変化への柔軟な対応
- ✓ 災害対策の実現



□ なおかつ、必達の2つのテーマ…

- ✓ 従来通り、またはそれ以上の使い勝手とレスポンス



- ✓ 重要情報を置くため、高いセキュリティの確保

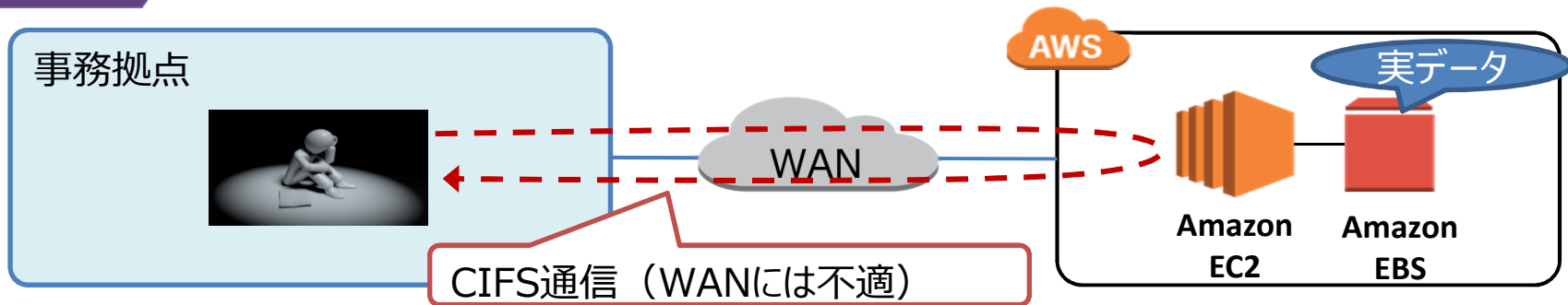


2015年5月の年金機構様の事案を受け、更にハードルが！

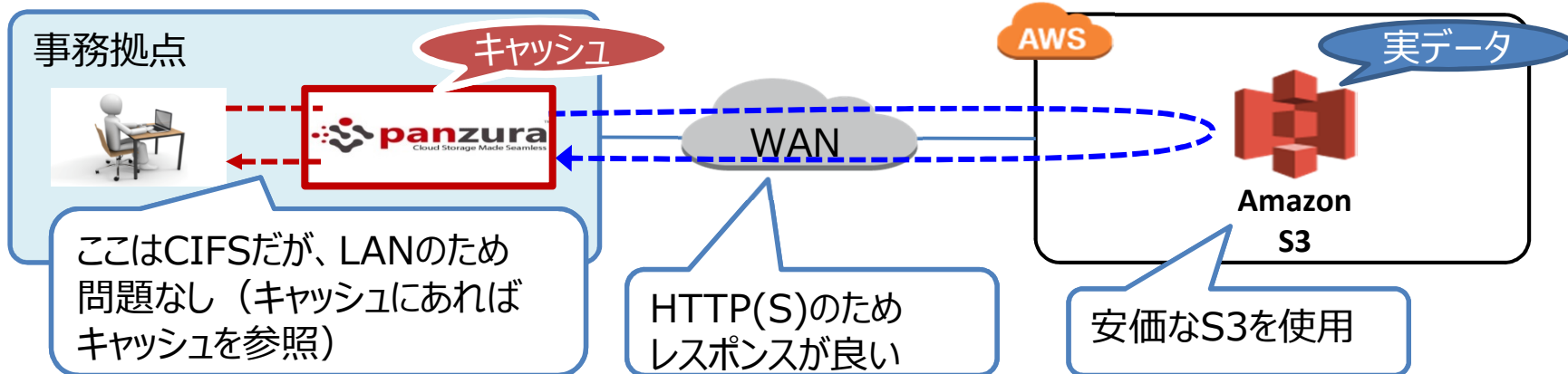
テーマ1：レスポンス対策

JNB

当初予定 → CIFS通信（Windowsのファイル共有プロトコル）がWAN越えとなり、レスポンスが劣化。



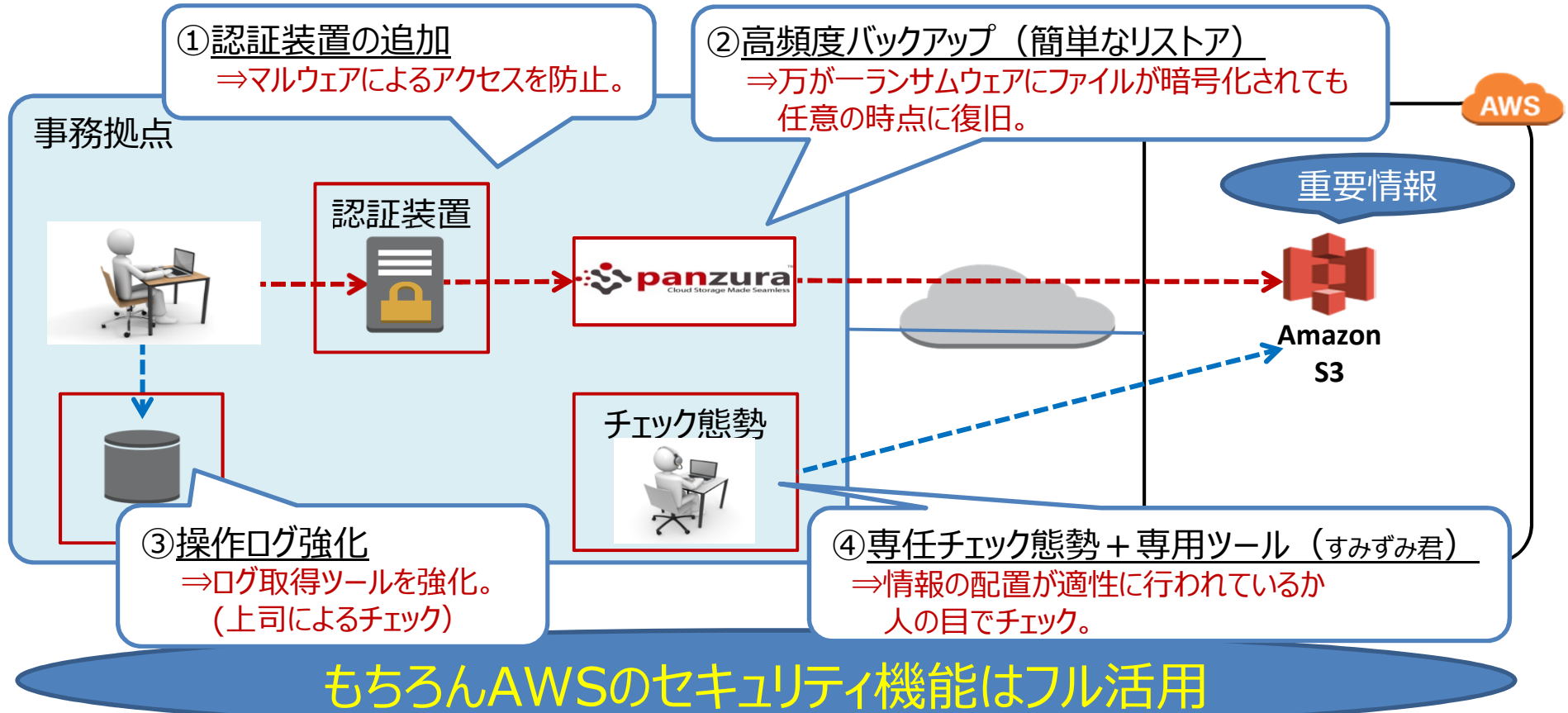
対策後 → キャッシュ製品（Panzura）を各拠点に導入。ファイルサーバはS3とした。



テーマ2：セキュリティ対策

JNB

重要情報をクラウドに保存することから、特に対策を強化（マルウェア、不正利用対策）。



当初のねらいは達成されたか？

JNB

・短期構築

■ 期待どおり！



・コスト抑制

■ 5年間でオンプレ比2割程度の削減！



・規模変化への柔軟な対応

■ 今後に期待！



・災害対策

■ できました！



概ね達成！



AWSの使い心地は？

JNB

□よいです



- ✓ 何かしようとする、その機能は概ねある
- ✓ 足りなければ対応ソフトウェアも多数

□更にうまく乗りこなすには



- ✓ なにごともインターネット接続が前提
- ✓ 課金対象や課金モデルはきちんと管理
- ✓ 臨時メンテナンスに備えた冗長化構成を

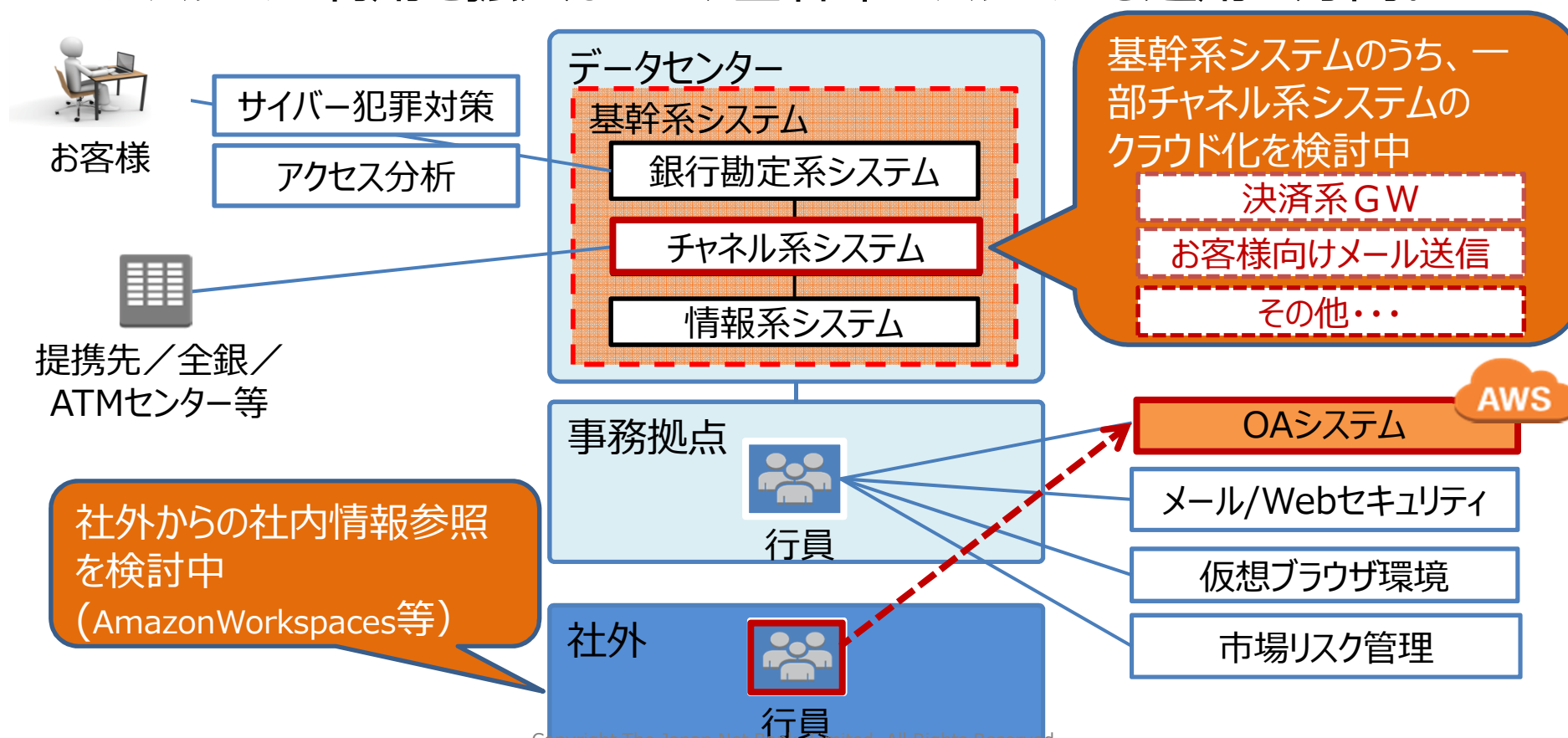


AWSを熟知したパートナー様も重要

今後の方向性

JNB

OAシステムの利用を拡大しつつ、基幹系システムにも適用の方向。



金融機関としては、以下をクリアしながら更なる活用を進めていく方向。

信頼性

決済を担うシステムとして、安定稼働と、一定したレスポンスの提供。

接続性

提携先様等と閉域網での接続が必要なケースもあり。
インターネット以外でも柔軟に接続できること。

金融機関においても、パブリッククラウドは活用すべき
インフラとなった。

引き続き、常に選択肢に入れ、積極的かつ適材適所
で活用していく。

ご清聴ありがとうございました

